

キルギス

キルギス共和国は、中央アジアの内陸国で、面積は約 20 万平方キロメートル（日本の約 2 分の 1）と中央アジア 5 か国の中で最小であり、国土の 40%は標高 3,000m を越える山国である。1991 年のソビエト連邦崩壊とともに独立を宣言し、1998 年には、独立国家共同体（CIS）諸国で初めて世界貿易機構（WTO）に加盟するなど、民主化と市場経済化を推進してきた。2005 年の野党勢力主導の革命（「チューリップ革命」）、及び 2010 年 4 月の野党勢力の反政府運動に端を発した政変を経て、中央アジアで初の議員内閣制の国家となった。2011 年 10 月の大統領選挙でアタムバエフ大統領が選出され、その後、2017 年 11 月にはソーロンバイ・ジェーンベコフ大統領が選出され現在に至る。民族は約 70%がキルギス系、その他、ウズベク系、ロシア系等がいる。宗教は、約 75%がイスラム教（スンニ派）、約 20%がロシア正教である。キルギスにおける SDGs の現状について紹介する。

政策と現状

キルギスは 2015 年 9 月に持続可能な開発のための 2030 アジェンダに参加した。この 2030 アジェンダは 2001 年に策定されたミレニアム開発目標（Millennium Development Goals: MDGs）の後継として国連で定められた 2016 年から 2030 年までの国際目標であり、MDGs の残された課題（例:保健、教育）や新たに顕在化した課題（例:環境、格差拡大）に対応すべく、新たに 17 ゴール・169 ターゲットからなる持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）として策定されたものである。

キルギス政府はこの 17 ゴールを以下の 6 つの大きなグループに分けて対応を進めている。（順不同）

- 1) Dignity (SDGS Goal 1,2)
- 2) People (SDGS Goal 3,4,5,6,11)
- 3) Planet (SDGS Goal 13,14,15)
- 4) Prosperity (SDGS Goal 7,8,9,10,12)
- 5) Justice (SDGS Goal 16)
- 6) Partnership (SDGS Goal 17)

キルギス政府は 2015 年 12 月 22 日に政令 867 号を発出し、2030 SDGS 目標への適応状況、実施状況、モニタリングを行う調整委員会を設置した。また 2016 年 3 月 28 日に調整委員会メンバーに係る政令も発出した。調整委員会メンバーは国会議員、政府各省庁、国家統計委員会、開発パートナーとなっている。現在 2030(LR: Long Range)及び NSSD(National Strategy of Sustainable Development)2(SR)の概念の作成途上にある。

Sustainable Development Goals for 2016–30

DIGNITY

1. End poverty
2. End hunger

PROSPERITY

7. Ensure affordable and sustainable energy
8. Promote decent work for all
9. Build resilient infrastructure and foster innovation
10. Reduce inequality
12. Ensure sustainable consumption

PEOPLE

3. Ensure well-being
4. Ensure quality education
5. Achieve gender equality
6. Ensure water and sanitation for all
11. Make cities and settlements safe

JUSTICE

16. Promote peaceful societies

PLANET

13. Stop climate change
14. Protect the ocean
15. Take care of the earth

PARTNERSHIP

17. Strengthen partnership for sustainable development

Kyrgyz Republic joined to Agenda 2030 in September 2015:

- “Transforming Our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development”.
- Agenda contains 17 goals and 169 targets

2015
ВРЕМЯ
ГЛОБАЛЬНЫХ
ДЕЙСТВИЙ
ДЛЯ ЦЕЛЕЙ И ЦЕЛЕЙ

National Statistical Committee of the Kyrgyz Republic 資料より

なお、国家統計委員会は 101 のサブゴールにかかるインディケータを収集できる状況にあり、情報入手アプローチのスタンダード化途上にあると言われている。

現状企業レベルで SDGs に注目したビジネス対応は筆者の知る限り確認されていないが、調整委員会主導による SDGs 認知度のキルギス国内での高まり、国連各機関、JICA などのアクターも含めた SDGs 啓発活動進展により企業レベルで SDGs ビジネスに対する関心が深まることが期待されている。